

# おしゃべり通信

No. 233 H31.4.15 発行 如春会 浦田医院

～H29年4月発行 日本小児科医会会報特集～



## スマホパニック! ⑩ ＜スマホ社会の落とし穴＞

### 2. 「劣化」の実相 -④

#### (3) 言葉の力・社会性が育たない。

(2)と深くかかわりますが、家庭内での言葉を使ったコミュニケーションが減っています。家庭内でたくさんの心のやりとりを経験していないと、社会生活に演繹することはできません。

家庭内会話が減っています。往年のNHK調査の結論は「お母さんといっしょ!」を保護者とみることによって、会話・コミュニケーションの回数が増え、よって子供の語彙・語用の発達に寄与している・身体行動が変わるということ結論付けているのであり、現状のスマホ・タブレット利用法には、「親子が一緒に利用して、それをコミュニケーションの媒体＝メディアとして利用する」というキーワードが欠けています。

メールで何でも話せる関係と言いますが、これは基本的に短文・省略語・絵文字が多用され、送った人の感性がそのまま反映されているかは不明と言えます。それを受け取った人の感性次第では如何様にも解釈されるのがふつうで、貴方の伝えたい本当の事は伝わっていないということはありませんか？

「目は口ほどにものを言い」「お母さんの目がそう言っている」「後姿が語っている」など、ヒトと直接会っていればこそ、感じたり受け取ったりできる感性はここには介入しません。メール等の中で「自分の感性がそのまま受け取られた」と言う感覚はもしかしたら錯覚で、理解されたと思っていることの半分は送り手・受け手双方の勝手な解釈の上に成り立っているかもしれないことに気が付いていなければなりません。

メールでのやりとりをそのまま現実社会に置き換えてしまうと「気持ちが悪くももらえない」症状に繋がっていきます。

(以下次号)  
(平成29年7月 S.URATA MD.)



## 子どもの事故と対策～子どもを事故から守ろう

### 「真夏じゃなくても、熱中症の危険が!」

#### ～熱中症～

熱中症はいわゆる高熱環境(暑熱環境)下で引き起こされますが、決して、真夏の直射日光に長時間曝されたときだけでなく、春先の車中でも起こりうることを覚えておいてください。

#### 熱中症(日射病)の症状と重症度分類

(熱中症保健指導マニュアル2001)

分類	症状	重症度
I度	めまい・失神 「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、“熱失神”と呼ぶこともあります。 筋肉痛・筋肉の硬直 筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴います。発汗に伴う塩分(ナトリウムなど)の欠乏により生じます。 これを“熱痙攣”と呼ぶこともあります。 大量の発汗	
II度	頭痛・気分の深い・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 体がぐったりする、力がはいらぬなどがあり、従来から“熱疲労”と言われていた状態です。	
III度	意識障害・痙攣・手足の運動障害 呼びかけや刺激への反応がおかしい、体にガクガクとひきつけがある。真直ぐに走れない・歩けないなど。 高体温 体に触ると熱いという感触です。従来から“熱射病”や“重度の日射病”と言われていたものがこれに相当します。	

## 熱中症の分類表

	分類	原因/ひきがえになること	症状、所見	治療
体温上昇なし	日射病	直射日光による血管拡張。血圧低下。	めまい、嘔吐 頭痛	安静、水分補給
	熱痙攣	大量の発汗時の水のみの補給。電解質異常。	筋肉の痙攣	輸液による塩分補給。
体温上昇あり	熱疲労	多量発汗、脱水により体温調節機能が破綻。	めまい、嘔吐、頭痛 皮膚紅潮。意識障害なし	全身冷却、輸液 気道確保、
	熱射病	多量発汗、脱水により体温調節機能が破綻。	頻脈、頻呼吸、血圧低下 痙攣。意識障害あり。	全身冷却、 臓器障害の治療

### 【熱中症予防のための注意点】

- なるべく直射日光を避ける。  
(直射日光はものすごい熱エネルギーです。)
- 吸汗性、通気性のよい衣服。  
(汗が蒸発する時に気化熱を奪ってくれます。)
- 十分な水分の補給。  
(脱水になると体温上昇しやすくなります。)
- 発汗量に応じた塩分の補給。  
(低ナトリウム血症予防のため。)
- 高湿度は要注意。  
(汗が気化し難いので熱の拡散ができない。)
- スポーツは休憩を取りながら休み休み。  
(身体を動かすと熱が産まれます。)

桜の季節も終わり、一気に季節は夏へ・・・もうすぐ10連休の超大型ゴールデンウィークがやってきます。ぜひ、お出掛けの前にこの記事のことを頭に入れて、楽しい思い出作りをしてください♪

### “子ども・若者とメディアを考える会”

期日：平成31年5月17日(金) 19:00～

場所：玉名郡市医師会館3階大ホール

内容：「地域で見つける子どもの居場所と次への一歩

～地域福祉交流館 findingRを基点として～

講師：たまきな荘 金和様